



山本建設株式会社
YAMAMOTO Construction Co.,Ltd

環境経営レポート 2023



ヤマちゃん



ケンちゃん

— 第15版 —

2024年 9月 1日 発行

(対象期間:2023年8月-2024年7月)

私たちは、地球と
地球の環境に配慮した
事業者です



エコアクション21
環境改善
認証番号0007290

代表者挨拶

当社は1951年創立（1970年法人登記）以来、高知県幡多郡黒潮町佐賀で建設業を営んで参りました。

道路・河川を中心とした一般土木工事、港湾漁港工事・しゅんせつ工事を中心とした海洋土木工事の二つの事業を両輪に、建築工事や造園工事等を手掛ける企業として、地域社会の発展、社会資本整備の一翼を担って参りました。

当社の経営理念である、「真心と技術で社会とお付き合い」を基本に「変化の時代」に対応し、環境への配慮、進化する技術への対応、品質・コスト・納期・安全への意識、労働環境の向上等に鋭意取り組んで参りました。

又、黒潮町においては南海トラフ大地震による大津波発生が懸念されることから、事業継続計画（BCP）を策定し、国土交通省の認定を受け対応しています。

エコアクション21への取り組みは2011年7月に認証登録し、本年9月で13年2ヶ月を経過、これまでの取組効果としては、以下の点が挙げられます。

- ① CO2排出量削減をもたらせています。
燃料使用量、電気使用量及び水使用量等資源の節約が実際にデータとして確認されています。生産性が向上しかつ経費の削減となっています。
- ② 建設業の現場において環境に配慮した工事に取り組み、現場での創意工夫した取り組みが実施され発注者から評価をいただいています。
- ③ 社員全員での取り組みにより、環境への意識が高まり一体感が創出されています。
- ④ 地域での清掃活動、環境活動や環境団体への支援により、企業として社会貢献をさせていただいております。
- ③ 社員の家族を含め、環境への取り組みが行われています。
- ④ 持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動にも積極的に取り組んでいます。

今後とも郷土の社会資本整備に向けて、環境に配慮した建設事業の実現を目指して、より一層エコアクション21に継続して取り組むこととします。

2024年 9月 1日

山本建設株式会社

代表取締役 山本 浩司

目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2
3. SDGs宣言	3
4. 環境経営方針	5
5. 環境管理組織体制・役割・責任・権限	6
6. 環境経営活動への取組の全体概要	7
7. 環境経営目標	8
8. 環境経営計画	9
9. 環境経営目標の実績	10
10. 環境経営計画の取組結果とその評価	16
11. 次年度環境経営計画と取組内容	18
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	19
13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	21
14. 環境活動の取組内容	22

発 行 日	2024 年 9 月 1 日
発行責任者	環境管理責任者 山本 久夫



I. 組織の概要

【事業者名及び代表者氏名】

山本建設株式会社

代表取締役 山本 浩司

【所在地】

・本社 〒789-1720 高知県幡多郡黒潮町佐賀2988番地

・荷稻資材倉庫 〒789-1705 高知県幡多郡黒潮町荷稻野中682-1

【環境管理責任者及び担当者と連絡先】

環境管理責任者 品質・安全管理部長 山本 久夫

担当者 工事部部長 打井 幸一

連絡先 T E L 0880-55-3141

F A X 0880-55-3143

E-mail kouichi@yama-ken.jp

U R L <https://yama-ken.jp/>

【事業活動の内容】

建設業（主に土木工事、建築工事を行なっています）

高知県知事 許可（特/般-4）第 1041号		
建設業の種類		許可年月日
特定建設業	土木工事業 建築工事業 しゅんせつ工事業 とび・土工工事業 水道施設工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 解体工事業	2022年6月4日
一般建設業	管工事業 造園工事業	

※上記各号に付帯関連する一切の業務

【事業規模】

設立年月日 1970年4月30日

資本金 3,000万円

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	2,484	1,347	1,443
役職員数	人	33	33	32
事務所敷地面積	m ²	626.36	626.36	626.36
事務所延べ床面積	m ²	884.2	884.2	884.2

※会計年度 8月～翌年7月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日



【対象範囲（認証・登録範囲）】

山本建設株式会社 全社（全組織・全活動・全従業員）

【対象事業者】

- ・本社 高知県幡多郡黒潮町佐賀2988番地
- ・荷稻資材倉庫 高知県幡多郡黒潮町荷稻野中682-1

【事業活動】

建設業

- ・土木工事業
- ・建築工事業
- ・しゅんせつ工事業
- ・とび・土工工事業
- ・水道施設工事業
- ・鋼構造物工事業
- ・舗装工事業
- ・解体工事業
- ・管工事業
- ・造園工事業

【環境経営レポート対象期間】

2023年8月 ～ 2024年7月

【環境経営レポート発行日】

2024年9月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 品質・安全管理部長 山本 久夫

3. SDGs宣言

山本建設株式会社 SDGs宣言

「真心と技術で社会とお付き合い」の環境経営理念に基づき、環境問題、地域貢献、充実した職場環境を目指し、安心・安全なまちづくりに貢献します。

安心・安全なまちづくり

建設業として生活基盤であるインフラ整備を通じ社会へ貢献すると共に、事業継続計画の策定により災害時において、迅速な対応ができる体制の構築、国土強靱化工事など地域政策に積極的に参画することで、災害に強い安心・安全なまちづくりを目指します。



環境問題

廃棄物の低減、CO2削減、グリーン購入率の向上、環境に配慮した工法の提案及び施工により、環境対策を実践します。



地域貢献

インターンシップ等の教育プログラムへの協力や、地域での清掃活動、環境活動、環境団体への支援により地域の企業として、関係機関と連携し社会貢献を実践します。



充実した職場環境

働き方改革の推進を図り、健康診断後の保健指導を積極的に実施、女性社員の活躍ができる職場環境のサポート、社員の教育・研修を積極的に実施することで「時間を有効に」「疲労の軽減」「生産性の向上」に向けて、充実した職場環境を目指します。



山本建設は、持続可能な未来を築くためにSDGsに取り組んでいます



県内企業を対象にSDGsを意識した取り組みを促進するため、
2021年10月「こうちSDGs推進企業登録制度」が設立されました。
当社も2021年10月22日より、こうちSDGs推進企業として登録されています。



SDGs達成に向けた宣言書

	SDGs達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況
環境 社会 経済	・建設施工段階において排出 されるCO2排出量の削減	・CO2排出量10%削減 (2021:121t (7月)⇒2030:108t)	2022年度:125t ・年1回CO2排出量を算出 (2021/10⇒2023/10)
環境 社会 経済	・継続的な社会貢献・地域 貢献に取り組む	・社会貢献・地域貢献活動の展開 (2021:12回⇒2030:15回)	14回 (ロードボランティア活動 12回 佐賀の伊与木川を守る会 1回 小学生との花壇美化活動 1回) (2021⇒2023)
環境 社会 経済	・学校および行政機関等と 連携し講習等を行い、 地域雇用の創出・確保	・6名の地域雇用創出 (2021:1名⇒2030:6名)	地域雇用は0名(2022年度)だったが 地元学校にて出前授業の実施や 職場体験10名の受け入れを行った (2021/10⇒2023/10)

4. 環境経営方針

経営理念

山本建設株式会社は、「真心と技術で社会とお付き合い」の精神で高知県幡多地域の発展と建設事業を通じて地域に貢献することを目指していくと共に、事業活動を行っている企業として環境への影響を考慮し、幡多地域の環境保全に向けて全社で自主的積極的に環境経営に取り組み、継続的に環境負荷の削減に取り組みます。

基本方針

- 1) 当社は、事業活動において環境に関する法規・条例を遵守し、全社員に周知し環境保全に取り組みます。
- 2) 環境教育を充実します。
- 3) 重機・車両の燃料使用量を抑制し節電に努め、本社・建設工事で使用する電気使用量の二酸化炭素排出量を削減します。
- 4) 節水活動により、水使用量を削減します。
- 5) 本社・建設工事で発生する廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
- 6) 環境に優しい資材の使用を促進し、周辺環境に配慮した設計・施工に取り組みます。
- 7) 建設工事における騒音、振動の低減、濁水防止、防塵対策を図ります。
- 8) 自然環境保全のため、生物多様性を配慮します。
- 9) グリーン購入や調達を積極的に推進します。
- 10) 地域周辺の環境に対する貢献やボランティア活動へ積極的に参加するとともに地元地域の各種催事・イベントへの協力及び参加を推進します。
- 11) 環境経営方針を達成する為、環境経営目標を設定し、全従業員が分担して取り組むと共に、定期的に見直し継続的な改善を図ります。
- 12) 環境経営レポート等環境情報については、広く外部へ公表します。
- 13) 持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動に取り組んでいきます。

2010年10月30日 制定
2021年10月 1日 改定
2023年10月 1日 改定

山本建設株式会社
代表取締役 山本 浩司

5. 環境管理組織体制・役割・責任・権限

代表者:代表取締役 山本 浩司

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営システムの実施に必要な資源を準備
- ・環境管理責任者の任命
- ・経営における課題とチャンス の明確化
- ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
- ・環境経営目標・環境経営計画を承認
- ・取組み全体の評価と見直し・指示を実施
- ・環境経営レポートの承認

環境管理責任者:品質・安全管理部長 山本 久夫

- ・環境経営システムの構築、実施、管理
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
- ・環境経営目標・環境経営計画を確認
- ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
- ・環境経営レポートの確認

EA2I・SDGs推進室:工事部部長 打井 幸一、佐野 瑞

- ・環境管理責任者の補佐、推進室の事務局
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守状況の確認
- ・外部コミュニケーションの窓口
- ・環境経営レポートの作成、公開
- ・SDGs活動の推進

総務部門長:金子 雄一、工事部門長:森田 政夫

- ・自部門における環境経営システムの実施
- ・自部門における環境経営方針の周知
- ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
- ・特定された項目の手順書作成及び運用管理
- ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、訓練の実施及び記録
- ・自部門の問題点の発見、是正処置、予防処置の実施

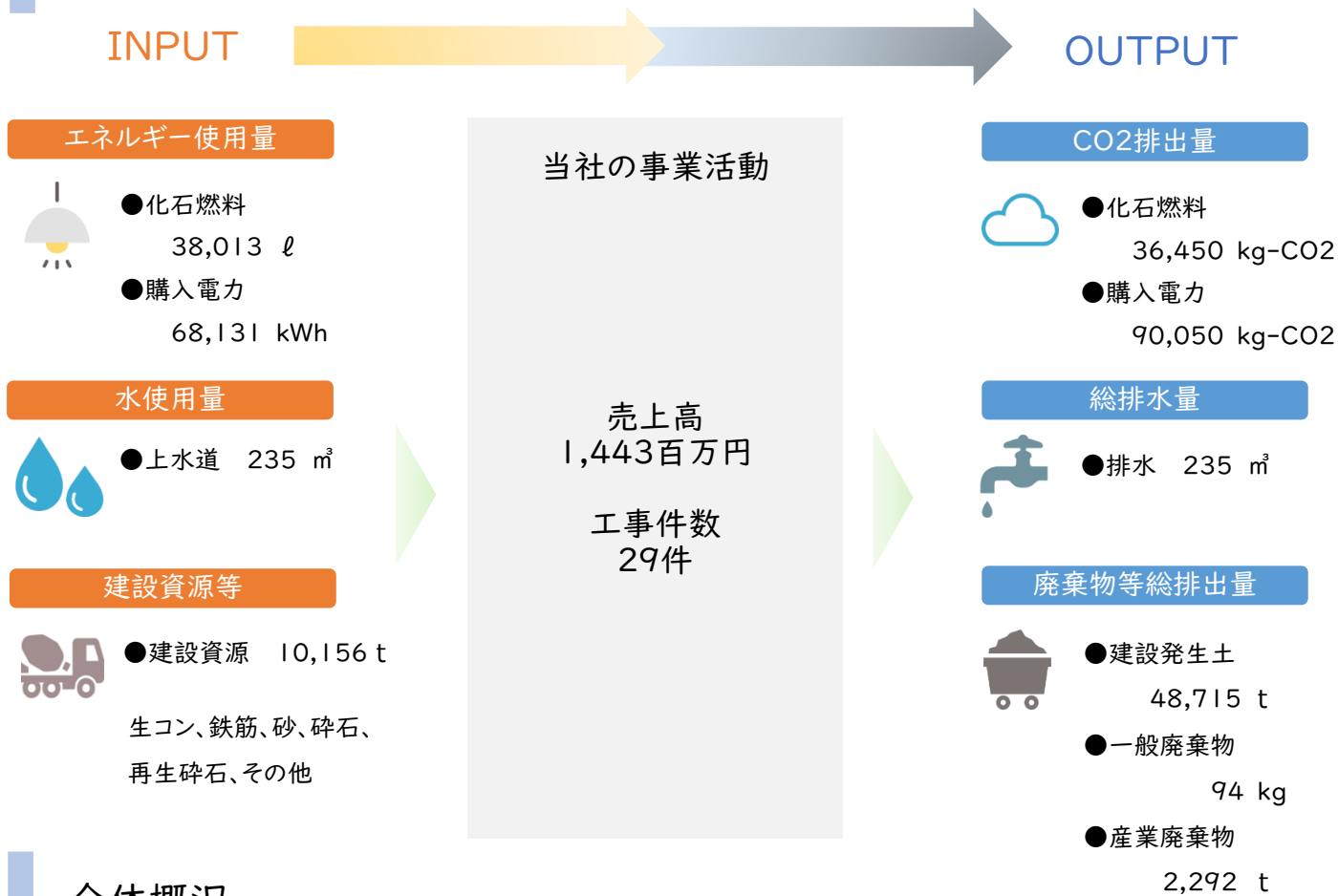
全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
- ・決定事項を守り、自主的積極的に環境活動へ参加

6. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷のチェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

マテリアルバランス



全体概況

- CO2排出量
化石燃料・・・現場での重機の稼働による軽油の使用量が増えたことと、遠方の現場が複数あったことによりガソリンの使用量が多くなったため、目標の達成には至りませんでした。
購入電力・・・猛暑によりエアコンの使用頻度が増えたため電力使用量が増加。
目標は未達成となりました。
- 水使用量については、目標に対して2.5%削減することができました。
- 廃棄物排出量
一般廃棄物排出量・・・前年度比10%減、目標からも10%の削減ができました。
産業廃棄物排出量・・・解体工事や側溝清掃等で最終廃棄物となる廃棄物が多く発生し
目標達成とはなりませんでした。
- グリーン購入は今年度も目標達成です。
- 環境に配慮した施工の提案・実施については、全工事で取り組みました。
- 地域貢献・社会貢献活動については、環境団体への支援や学生8名のインターンシップと職場体験の受け入れ、大学生とのSDGsイベントへの参加など積極的に行いました。
またロードボランティア(88クリーンウォーク除く)も毎月の実施ができました。

7. 環境経営目標

【単年度及び中長期目標】

- 基準値 過去3年間（2020～2022年度）の実績を平均した値より設定
- 対象期間 各年度 会計年度 8月～翌年7月

環境目標		単位	基準値	単年度目標	中長期目標		
			平均売上高 1,551百万円	2023年度 -1%削減	2024年度 -2%削減	2025年度 -3%削減	2026年度 -4%削減
CO2排出量の削減		kg-CO2	122,568	121,342	120,117	118,891	117,665
※売上高百万円あたり原単位		kg-CO2/ 百万円	79	78	77	77	76
(1) 燃料使用量の削減		ℓ	37,037	36,667	36,296	35,926	35,556
※売上高百万円あたり原単位		ℓ / 百万円	24	24	24	23	23
(2) 電力使用量の削減		kWh	64,603	63,957	63,311	62,665	62,019
水使用量の削減		m3	243	241	238	236	233
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量削減	kg	106	105	104	103	102
	産業廃棄物排出量削減	t	2,135	2,114	2,092	2,071	2,050
	産業廃棄物再資源化率の向上	%	89	92	92	92	92
グリーン購入の推進		%	43	45	45	45	45
環境に配慮した施工の提案・実施（※1）		件	全件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動		回	12	12	13	14	15
若手技術者（女性含む）の採用			-	2030年までに6名			

* 二酸化炭素排出係数:0.535 [kg-CO2/kWh] 四国電力（2018年12月27日公表）
* 原単位の評価対象:CO2排出量・燃料使用量
原単位の算出については、各項目の値を平均売上高で除する
* LPG使用量は極端に数量が少ないため目標を設定していない
* 地下水の使用量は計量不可である為、水使用量に含まれていない
* グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

（※1）環境に配慮した施工内容

- ・環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・濁水防止対策の実施
- ・近自然型工法等の導入
- ・ICT工法等の導入

8. 環境経営計画

期間:2023年8月 ～ 2024年7月

活動内容		担当者	関連SDGs
CO2 排出量 削減	(1) 燃料使用量削減		
	・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り	打井、各現場代理人	 
	(2) 電力使用量削減		
	・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・エアコン温度の厳守(冷房28℃、暖房20℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定 ・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目)	佐野、各現場代理人 各現場代理人及び総務部	 
水使用量削減			
・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施(月1回)		金子、各現場代理人	
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物排出量削減		
	・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認	各部門長、現場代理人	
	産業廃棄物排出量削減		
	・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに適正な管理・処理を行う ・リサイクル率の向上	各現場代理人 各部門長、現場代理人	
グリーン購入の推進			
・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入		宮地	
環境に配慮した施工の提案・実施			
・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入		各現場代理人	      
社会貢献活動			
・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動(清掃活動)の参加		山下(貴)	 
・環境団体への支援		代表者(社長)	 
SDGs活動			
・SDGsへの取り組み		全社員	

9. 環境経営目標の実績

1) 2023年度環境経営目標の実績

- 基準値
- 過去3年間(2020~2022年度)の実績を平均した値より設定
- 対象期間
- 各年度 会計年度 8月~翌年7月
- 売上高
- 1,443百万円

環境目標		単位	基準値	2023年度 目標 -1%削減	2023年度 実績	達成 状況	評価 点数
			平均売上高 1,551百万円				
CO2排出量の削減		kg-CO2	122,568	121,342	126,500	96%	△ 1点
※売上高百万円あたり原単位		kg-CO2/ 百万円	79	78	88	89%	× 0点
(1)燃料使用量の削減		ℓ	37,037	36,667	38,013	96%	△ 1点
※売上高百万円あたり原単位		ℓ/百万円	24	24	26	92%	△ 1点
(2)電力使用量の削減		kWh	64,603	63,957	68,131	94%	△ 1点
水使用量の削減		m3	243	241	235	103%	○ 2点
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量削減	kg	106	105	94	112%	○ 2点
	産業廃棄物排出量削減	t	2,135	2,114	2,292	92%	△ 1点
	産業廃棄物再資源化率の向上	%	89	92	88	4% 未達成	△ 1点
グリーン購入の推進		%	43	45	54	9% 達成	○ 2点
環境に配慮した施工の 提案・実施		件	全件	全件	全件	100%	○ 2点
社会貢献活動		回	12	12	14	117%	○ 2点
若手技術者(女性含む)の採用			2030年までに6名		2	-	-

評価凡例:	[○] 達成	100% ≤	2点	合計点数	16点
	[△] ほぼ達成	90% ~ 100%	1点	達成率	89%
	[×] 未達成	90% ≥	0点		
総合計が85%以上で達成					

- * 二酸化炭素排出係数:0.535 [kg-CO2/kWh] 四国電力(2018年12月27日公表)
- * 原単位の評価対象:CO2排出量・燃料使用量
原単位の算出については、各項目の値を平均売上高で除する
- * LPG使用量は極端に数量が少ないため目標を設定していない
- * 地下水の使用量は計量不可である為、水使用量に含まれていない
- * グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 削減目標の達成状況の計算式: 目標値÷実績値×100

2) 活動結果の推移

CO2排出量

① CO2排出量の削減

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成



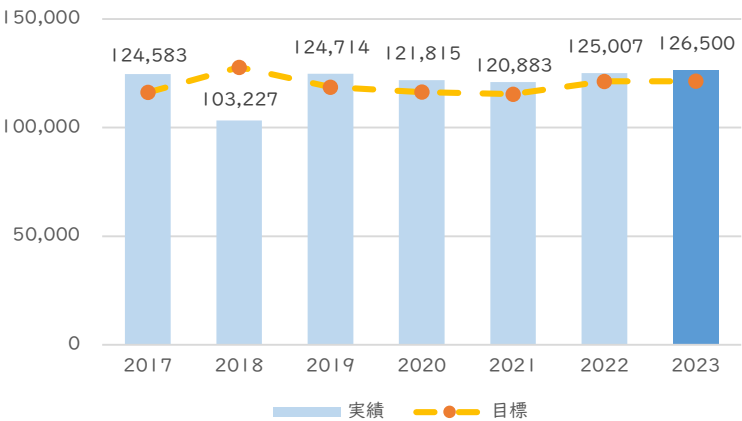
② 売上高百万円あたりの原単位



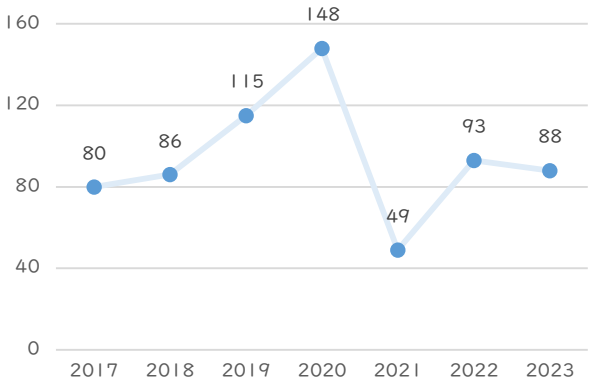
評価

CO2排出量はほぼ達成、CO2排出原単位（売上高（百万円あたり））は、目標の達成に至らなかった。
電力の使用量増加と、遠方の現場が複数あったことで化石燃料の使用量が増えたことから、CO2排出量が増加となった。
2019年度以降、未達成が続いているため数値目標の見直しを検討していくなどし、引き続き省エネルギーを心掛けCO2排出量の削減に取り組んでいく。

CO2排出量の推移 [kg-CO2]

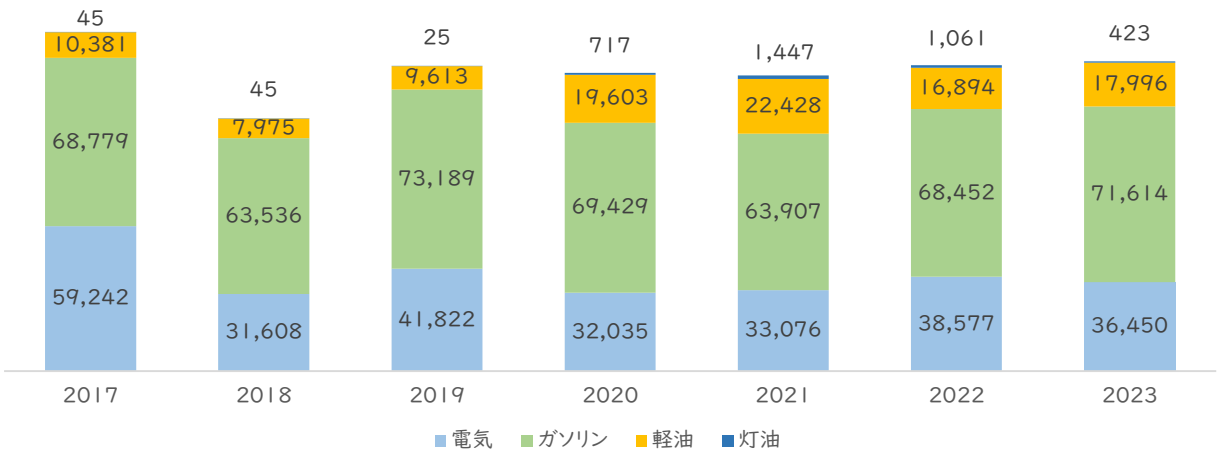


原単位の推移 [kg-CO2 / 百万円]



※CO2排出量自体は横ばいだが、原単位については売上高により大きく変動している

項目別の推移 [kg-CO2]



燃料使用量

① 燃料使用量の削減

目標値

36,667 ℓ



実績値

38,013 ℓ

達成状況

96%

評価



② 売上高百万円あたりの原単位

目標値

24 ℓ/百万円



実績値

26 ℓ/百万円

達成状況

92%

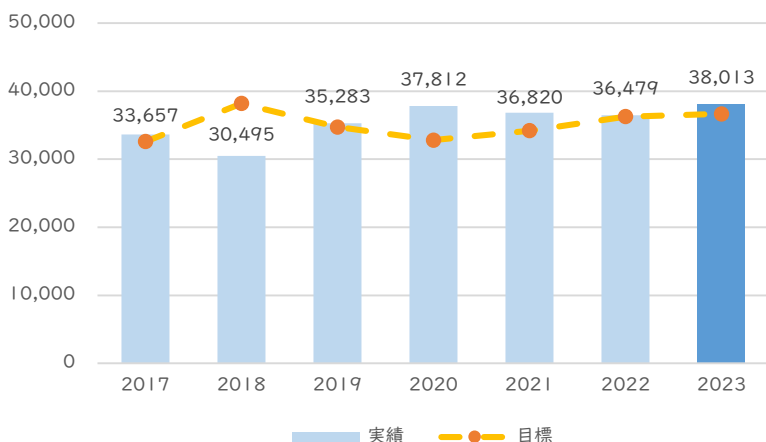
評価



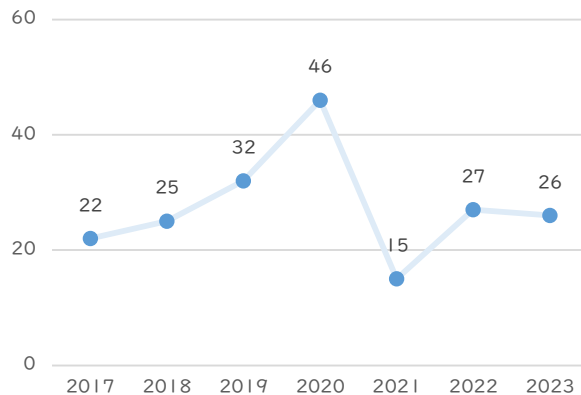
評価

施工現場が本社から遠隔地となる現場が複数あり、それに伴い安全パトロールなど現場へ向かうことでガソリンの使用量が多くなったこと、現場での掘削作業等によって軽油の使用量が増加していることが要因と考えられる。工事件数や工種によって、燃料の使用量が左右される。今後もアイドリングストップの徹底やエコドライブを基本とし、全社員が燃費軽減に対する意識向上と削減に努めていきたい。

燃料使用量の推移[ℓ]



原単位の推移[ℓ/百万円]



※CO2排出量同様、使用量は横ばいだが、原単位は売上高により大きく変動している

▼社用車の車内整理



電力使用量

電力使用量の削減

目標値

63,957 kWh

実績値

68,131 kWh

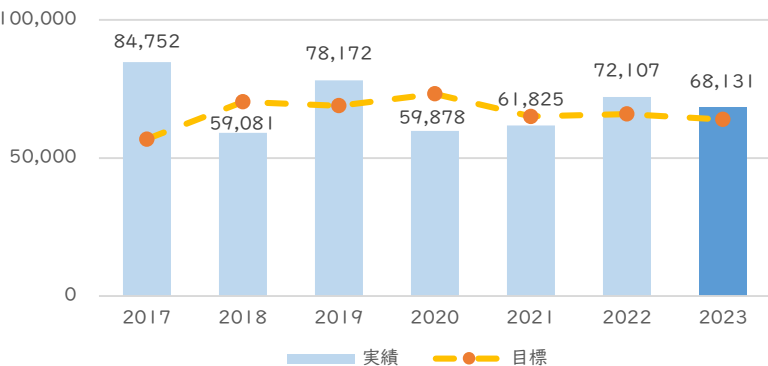
達成状況

94%

評価



電力使用量の推移 [kWh]



▼LED照明の設置で省エネ対策
(現場事務所)



評価

前年度比、本社1.3%増・現場12%減。目標達成には至らなかったが、前年度からは5.5%の削減ができた。未達成となった主な要因としては、2023年の夏は最も高い平均気温となり連日の猛暑によりエアコンの使用頻度が増えたことが考えられる。熱中症などに注意しつつ、エアコンの温度・風量設定の調整と節電に取り組み、次年度こそ目標達成としたい。

水使用量

水使用量の削減

目標値

241 m³

実績値

235 m³

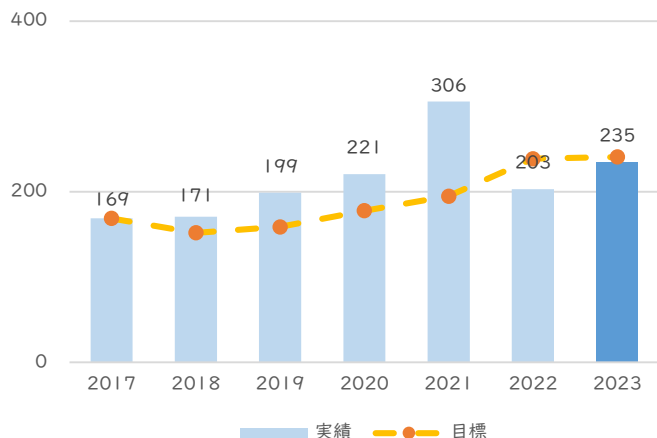
達成状況

103%

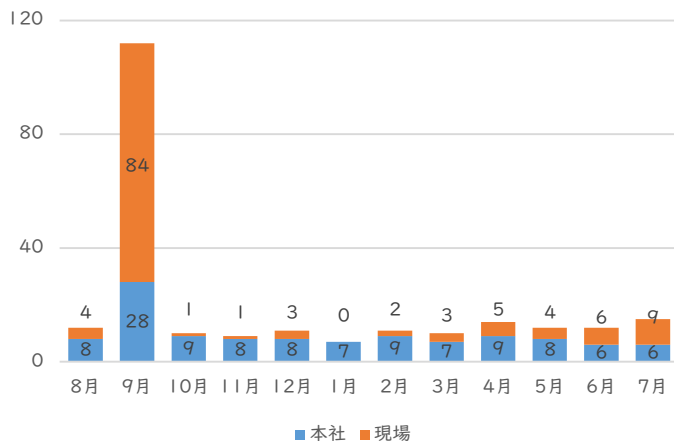
評価



水使用量の推移 [m³]



本社と現場別での水使用量 [m³]



評価

前年度比15.7%増となったが、目標は達成。9月の使用量については、本社では浄化槽清掃と保守点検、現場では建築解体工事の粉じん対策のために高圧洗浄機による散水を行ったことで大幅に増えています。次年度も節水と削減に取り組んでいきます。

廃棄物排出量

① 一般廃棄物排出量の削減

目標値

105 kg

実績値

94 kg

達成状況

112%

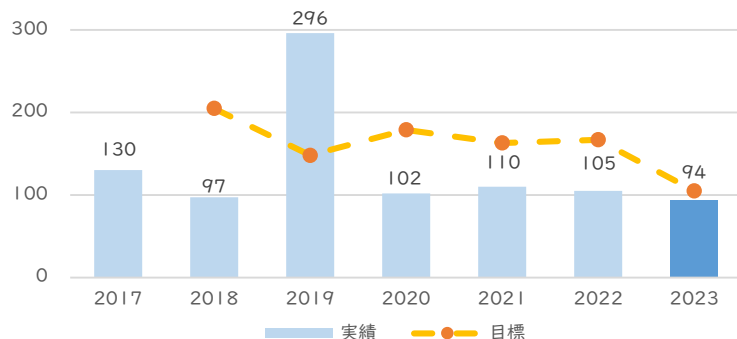
評価



評価

目標達成。過去6年間でも最も少ない排出量となった。今後も継続してリサイクルの推進を実施していく。

一般廃棄物排出量の推移 [kg]



▲裏紙の再利用



▲再生紙用の給紙トレイ

② 産業廃棄物排出量の削減

目標値

2,114 t

実績値

2,292 t

達成状況

92%

評価



評価

目標値から8.4%増加する結果となった。解体工事等で発生したコンクリートの排出量が前年度と比較すると660 tほど増加している。工事受注内容によって変動されるが、今後も削減に励んでいく。

③ 再資源化率の向上

目標値

92 %

実績値

88 %

達成状況

4% 未達成

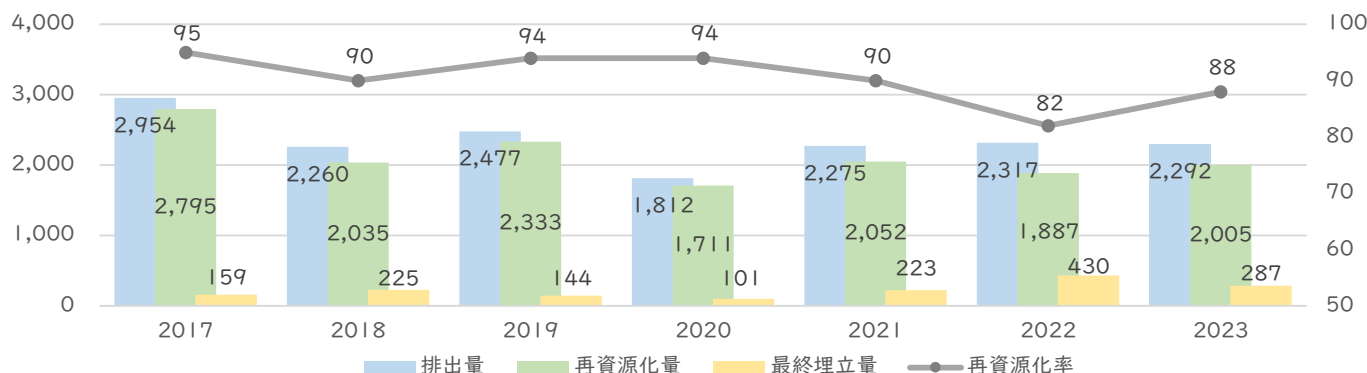
評価



評価

前年度比6%アップでほぼ達成。こちらも解体工事における、廃石綿や側溝清掃で発生する廃プラ等の埋立処分の廃棄物が多く発生したためである。引き続き再資源化率の向上に取り組んでいく。

産業廃棄物及び再資源化物排出量、最終埋立量 [t] と 再資源化率の推移 [%]



グリーン購入の推進

グリーン購入の推進

目標値

45 %



実績値

54 %

達成状況

9% 増加

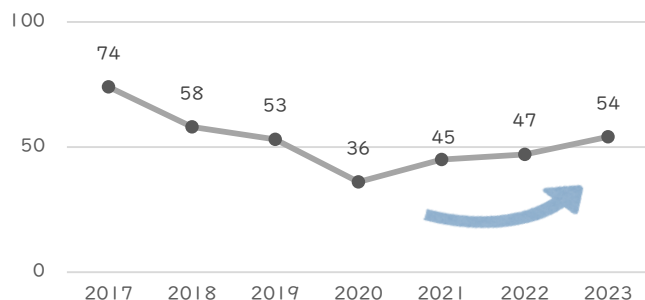
評価



評 価

今年度も目標達成。2020年度からは緩やかではありますが、右肩上がりです。
今後も可能な限り環境負荷の少ない商品を購入するよう心がけます。

グリーン購入率の推移 [%]



※2017年から購入率が減少している理由について
購買担当者変更に伴い、購入先を変更したことや
書類や倉庫の整理整頓を行い再利用可能なものは
再利用したことで購入頻度を減らしたためである



エネルギーコストの推移

単位:円

項 目	2020年度 工事件数32件	2021年度 工事件数22件	2022年度 工事件数22件	2023年度 工事件数29件
売上高(百万円あたり)	822	2,484	1,347	1,443
ガソリン	4,479,460	4,802,048	5,231,640	5,579,186
軽油	981,912	1,295,570	994,533	1,117,322
灯油	26,355	70,554	49,998	20,176
電力	1,663,745	1,919,127	2,470,933	2,159,108
合計金額	7,151,472	8,087,299	8,747,104	8,875,792

※電気代の値上げや物価高騰などによって大きく変動がある

※ガソリン平均価格(高知県)について

2020年度は平均149円に比べて、2023年度は平均180円であり、31円もの値上がりがみられる

■売上高当たりのエネルギーコスト比率

比 率	0.9%	0.3%	0.6%	0.6%
エネルギーコスト比率=エネルギーコスト(百万円)/売上高(百万円)×100				

■CO₂ 1トン当たりのエネルギーコスト

CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	121	121	125	127
CO ₂ 1tあたりの エネルギーコスト	5.9万円	6.7万円	7.0万円	7.0万円

CO₂ 1tあたりのエネルギーコスト=エネルギーコスト(万円)/CO₂排出量(t-CO₂)

10. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間:2023年8月 ~ 2024年7月

活 動 内 容		評 価	取 組 結 果	関連SDGs			
CO2 排 出 量 削 減	(1)燃料使用量削減	良好 良好 良好 良好 良好	取り組みは実施・徹底できている。 引き続き全社員がエコドライブに心掛ける。	 			
	・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り						
	(2)電力使用量削減				不十分 良好 良好 良好	目標達成には至らなかった。 節電注意喚起シールなど今後も啓発を継続する。	 
	・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・エアコン温度の厳守（冷房28℃、暖房20℃） ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定						
	・エアコンフィルターの清掃（季節の変わり目）						
水使用量削減							
・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施（月1回）		良好 良好 良好	実施できた。継続する。				
廃棄物 排 出 量 削 減	一般廃棄物排出量削減	良好 良好 良好	前年度に引き続き目標の達成ができた。				
	・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認						
	産業廃棄物排出量削減				良好 良好	取り組みは行っているが、排出量・再資源化率ともに未達成。工事内容により左右される。	
	・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに適正な管理・処理を行う						
	・リサイクル率の向上	不十分					
グリーン購入の推進							
・エコマーク商品の優先購入（事務用品、日用品等） ・古紙率の高いコピー用紙の購入		良好 良好	実施できた。引き続きグリーン商品を意識して購入していく。				
環境に配慮した施工の提案・実施				      			
・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入		良好 良好 良好 良好 良好 良好 良好 良好	環境に配慮した施工は全工事で取り組み、「環境配慮工事チェックシート」については主要工事（7件）で実施している。今後も取り組みを継続する。				
社会貢献活動				   			
・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動（清掃活動）の参加		良好 良好	積極的に実施している。 引き続き積極的に参加する。				
・環境団体への支援		良好					
SDGs活動							
・SDGsへの取り組み		良好	社員に浸透しており、今後も継続する。				

10-1. 環境経営計画の実施記録

期間:2023年8月 ～ 2024年7月

評価点: 5点 取り組んでいる、3点 時々取り組んでいる、1点 あまり取り組めていない、- 該当なし

項 目		活 動 内 容	部署	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
CO2	燃料使用量 削減	・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り	現場	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
排 出 量 削 減	電力使用量 削減	・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 ・エアコン温度の厳守（冷房28℃、暖房20℃） ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定 ・エアコンフィルターの清掃（季節の変わり目）	全部署	3	5	5	5	5	5	5	3	5	5	3	54	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	58	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	-	-	5	-	-	5	-	-	5	-	-	20
水使用量削減		・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施（月1回）	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
廃 棄 物 排 出 量 削 減	一般廃棄物 排出量削減	・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	産業廃棄物 排出量削減	・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに適正な管理・処理を行う ・リサイクル率の向上	現場	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
3				5	5	5	5	5	3	3	3	5	5	5	51	
グリーン購入の推進		・エコマーク商品の優先購入（事務用品、日用品等） ・古紙率の高いコピー用紙の購入	本社	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
環境に配慮した 施工の提案・実施		・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料（リサイクル製品等）の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入	現場	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
社会貢献活動		・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動（清掃活動）の参加 ・環境団体への支援	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
				5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
				5	-	5	-	-	-	-	-	-	5	5	-	20
SDGs活動		・SDGsへの取り組み	全部署	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	

11. 次年度環境経営計画と取組内容

期間：2024年8月 ～ 2025年7月

活 動 内 容 (※)は見直し及び新規追加活動		担 当 者	関連SDGs
CO2 排 出 量 削 減	(1) 燃料使用量削減	打井、各現場代理人	 
	・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り		
	(2) 電力使用量削減	佐野、各現場代理人	 
	・不要照明の消灯、節電の徹底 ・クールビズ・ウォームビズの推奨 (※) エアコン温度の厳守 (冷房26℃±1℃、暖房21℃±1℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定		
・エアコンフィルターの清掃 (季節の変わり目)		各現場代理人及び総務部	
水使用量削減			
・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施 (月1回)		金子、各現場代理人	
廃 棄 物 排 出 量 削 減	一般廃棄物排出量削減	各部門長、現場代理人	
	・両面印刷及び裏紙使用の推進 ・ゴミの分別 (※) 印刷前にプレビュー確認し、印刷ミスを防止		
	産業廃棄物排出量削減	各現場代理人	
	・産業廃棄物の分別を徹底 ・産業廃棄物管理票 (マニフェスト) をもとに適正な管理・処理を行う		
・リサイクル率の向上		各部門長、現場代理人	
グリーン購入の推進			
・エコマーク商品の優先購入 (事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入		宮地	
環境に配慮した施工の提案・実施			      
・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料 (リサイクル製品等) の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入		各現場代理人	
社会貢献活動			   
・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動 (清掃活動) の参加 ・環境団体への支援		山下 (貴) 代表者 (社長)	
社内活動・採用活動			  
(※) 職場体験やインターンシップの受入 (※) 出前授業の実施・合同説明会の参加		代表者 (社長)	
SDGs活動			
・SDGsへの取り組み		全社員	

12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

確認日：2024年7月31日

※廃棄物処理法 第12条9・10項、第12条の3 7項は2024年6月28日確認

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守 状況
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、再資源化等に要する費用の低減努力、再資源化された建設資材の使用努力	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第9条	分別解体等の実施義務	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第10条	対象工事等の届出等	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第12条	届出事項の説明等	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第13条	請負契約に係る書面の記載事項	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	第16条	再資源化等の実施義務	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	法第3条 第1項	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第7条	一般廃棄物収集運搬について各市町村長の許可を受ける	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	法第7条 13項	一般廃棄物収集運搬について基準に従い収集若しくは運搬又は処分を行わなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第11条	事業者はその産業廃棄物を自ら処分する事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条	産業廃棄物の運搬又は処分を行う場合には、産業廃棄物処理基準に従わなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条 第5項～第7項	産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合には、それぞれの規程に定められた者に委託しなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条 9・10項	前年度1,000 t以上の産業廃棄物を排出した事業者は、多量排出事業者計画届を県知事等に提出。又計画届を提出した事業者は翌年、県知事等に多量排出事業者実施状況報告書を提出	1回/年 6月	総務部	遵守
	法第12条の3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	法第12条の3 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事)への提出	1回/年 6月	総務部	遵守
	令第6条の2 第1号 第2号	処理を委託する相手は処理業の許可を有する。委託する業者は、委託しようとする廃棄物の処理が事業の範囲に含まれている事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	令第6条の2 第4号	委託契約は書面で行なう事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第1条の5	産業廃棄物の保管場所には、60cm角以上の掲示板を設置	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第8条	産業廃棄物保管基準	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第8条の26	マニフェストの保存期間	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	規則第8条の28	マニフェストの写しの送付を受けるまでの期間	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品の利用促進(コ殻・珪殻・木材等)	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村に提出)	1回/年 7月	工事部	遵守
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村に提出)	1回/年 7月	工事部	遵守

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守 状況
大気汚染防止法	第18条の15	特定粉じん排出等作業を伴う建設工事の届出（作業開始14日前までに高知県知事へ）	1回/年 7月	工事部	遵守
	第18条の17	解体等工事に係る調査、説明等の実施、掲示	1回/年 7月	工事部	遵守
労働安全衛生法・同施行令・労働安全衛生規則	第14条・66条・88条	作業主任者等の指示、健康診断等、除去工事の事前届出（14日前まで）	1回/年 7月	工事部	遵守
建築基準法	第28条の2	建築材料に石綿等の政令で定める有害物質を添加しない、石綿等をあらかじめ添加した建築材料を使用しない	1回/年 7月	工事部	遵守
浄化槽法	第8条	浄化槽の保守点検の技術上の基準に従って行わなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第9条	浄化槽の清掃の技術上の基準に従って行わなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第10条	浄化槽の保守点検（1回/3ヶ月）及び浄化槽の清掃（1回/1年）をしなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第11条	毎年一回、指定検査機関の行う水質に関する検査を受けなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
水質汚濁防止法	第14条の6	公共用水域の水質保全を図るため、国又は地方公共団体による生活排水対策の実施に協力しなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
	第14条の7	生活排水を排出するものは、公共用水域の水質に対する生活排水による汚濁の負荷の低減に資する設備に努めなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品のフロン漏洩点検を実施する	4回/年 3か月毎	社長	遵守
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	第4条の2	国が実施する大気の汚染の防止に関する施策に協力する	1回/年 7月	工事部	遵守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	国土交通省告示第318号	工事用建設機械等の排出ガス対策型使用及び操作方法の統一	1回/年 7月	工事部	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	国土交通省告示第487号	対策型ステッカー配布の建設機械を使用する	1回/年 7月	工事部	遵守
高知県環境基本条例	第6条・7条	基本理念に則り、事業活動及び日常生活に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない	1回/年 7月	工事部	遵守
黒潮町一般廃棄物処理実施計画	令和元年度 黒潮町一般廃棄物 処理実施計画	ごみの適正処理を実行する	1回/年 7月	全員	遵守
河川法	第24条・26条・27条	河川区域において土地の占用、工作物の新設等、土地の掘削・盛土等を行う時は、河川管理者の許可が必要	1回/年 7月	工事部	遵守
	第29条	1日につき、50㎡以上の汚水又は排水の場合は河川管理者に届出	1回/年 7月	工事部	遵守
黒潮町伊与木川清流保全条例	第5条・6条	町民及び事業者は町が実施する施策に協力しなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例	第4条・7条	生態系及び景観の保全上の支障を予防、人と自然の共生、地域固有の特性を活かした取組、住民その他関係者への必要情報の提供	その都度	全員	遵守
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（海洋汚染防止法）	第4条・5条	船舶からの油の排出禁止 油による海洋汚染防止の為の設備設置	1回/年 7月	工事部	遵守
	第9条の2～4	船舶からの有害液体物質の排水の禁止、有害液体物質による海洋の汚染の防止のための設備設置	1回/年 7月	工事部	遵守
道路法	第7条2 第47条	道路占用許可の申請 特殊車両通行の許可の申請	その都度	工事部	遵守
道路交通法	第77条	道路使用許可の申請	その都度	工事部	遵守

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。
 又、令和5年8月1日～令和6年7月31日の間、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情もありません。

13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

報告者	環境管理責任者 山本 久夫
報告年月日	2024年 8月 31日

環境管理責任者の報告及び改善への提案	
①関連法規等の遵守状況	関連法規等に関する違反・訴訟はなし
②問題点の是正処置状況	二酸化炭素排出係数の見直しを行う
③前回までの代表者の指示事項への対応	原単位の目標値の算出方法の見直しを行った
④電気・化石燃料について 月間実績値が年間月平均値を3割超えた理由	電気 … 猛暑によるエアコンの使用頻度が増えたため増加した 化石燃料 … 遠方の現場が複数あったため燃料の使用量が増加した

環境経営目標・環境経営計画の達成状況			
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント
二酸化炭素削減 (燃料および電力使用量)	△	△	全社員意識はしているが工事場所や工事内容によって左右される 今後も節電・省エネへの工夫等を考えていきたい
水使用量削減	○	○	目標達成。今後も本社・現場ともに節水を心掛ける
廃棄物排出量削減	△	△	一般廃棄物は達成できたが、産業廃棄物については未達成 今後も適切な処分と削減を徹底する
産業廃棄物再資源化率	△	△	混廃の分別や、環境に配慮した処分場の選択から再資源化に 努める
グリーン購入の推進	○	○	引き続きグリーン商品を意識して購入する
環境に配慮した施工の 提案・実施	○	○	次年度も環境配慮を行い、更なる取り組みを考慮する
社会貢献活動	○	○	これからも積極的にボランティア活動に努め実施する

周囲の変化の状況	
①外部コミュニケーション記録	外部からの苦情、要望はなし
②環境関連法規等の改訂動向	なし

対象項目	変更の有無	代表者による評価及び指示事項
環境経営方針	☐ 有 ☒ 無	引き続き活動を継続する
環境経営目標	☐ 有 ☒ 無	今後の活動状況によって必要であれば目標値の見直しを行う
環境経営計画	☐ 有 ☒ 無	計画の取組は適切に行われている。新たな項目を見出し 今後も目標達成に向けた取り組みを維持・継続する
実施体制	☐ 有 ☒ 無	現在の実施体制で継続する
環境経営システム (上記以外)	☐ 有 ☒ 無	エコアクション21、SDGsともにシステムとして有効に機能している

※社長の指示を受けての是正内容

指示に従い、動向を注視し今後の目標設定の変更
を検討していく

作成年月日	2024年 8月 31日
社長承認サイン	山本 浩司

14. 環境活動の取組内容

1) 環境に配慮した施工の提案・実施

(1) 環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用



リサイクル資材(鉄鋼副産物)から製造された藻礁・魚礁となる自然環境に優しい人口石材を使用。

鉄分・珪酸分などのミネラル分を含んでいるため、藻類や生物が着生しやすく藻場・漁場の造成が期待されます。現場でも、環境負荷の少ない材料やリサイクル資材の選定に努めています。

◆工事名:水産第5-14-1号 灘地区投石魚礁設置工事



▲ 生物を確認



▲ 海藻類付着状況(4年前に設置)

(2) 型枠・工事看板への間伐材の使用、県内産・町内産木材の使用



◆工事名:道交地防安(1.5車)第9103-041-1号 県道秋丸佐賀線 防災・安全交付金工事



▲ 県内産木材を使用した木製型枠・木柵の設置
安全掲示板にも間伐材を使用しています。



▲ 攪拌(バーク堆肥、油粕)
※バーク堆肥はリサイクル製品を使用



▲ 11種類のポット苗を植え付け



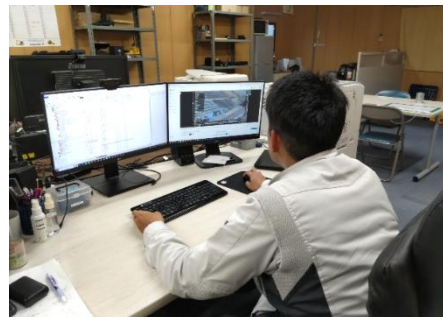
▲ 植栽完了

(3) 土砂流出防止および濁水対策の実施



◆工事名: 令和4-5年度 窪川佐賀道路平串改良工事

WEBカメラを使用したICT施工管理



クラウド録画型のWEBカメラを現場に設置することで、降雨・大雨時の現場の流水状況や土砂の状態を遠隔地からでもスマートフォンやPCを用いて、リアルタイムに確認することができます。

その他にも、沈砂池の設置やバイオログフィルター（天然ヤシ繊維100%素材）の設置など、現場では様々な安全管理の工夫を実施しています。



(4) 粉塵・防塵対策の実施



◆工事名: 令和5年度 横浜改良住宅団地1号解体工事

解体工事中に発生する粉塵の飛散対策として、高圧洗浄機を使用した散水を実施しました。



◆工事名: 令和4-5年度 窪川維持工事

トンネル補修工事に於いて、防塵対策として歩行者へ個別梱包マスクの配布を行いました。



(5) ICT (情報通信技術) 工法等の導入

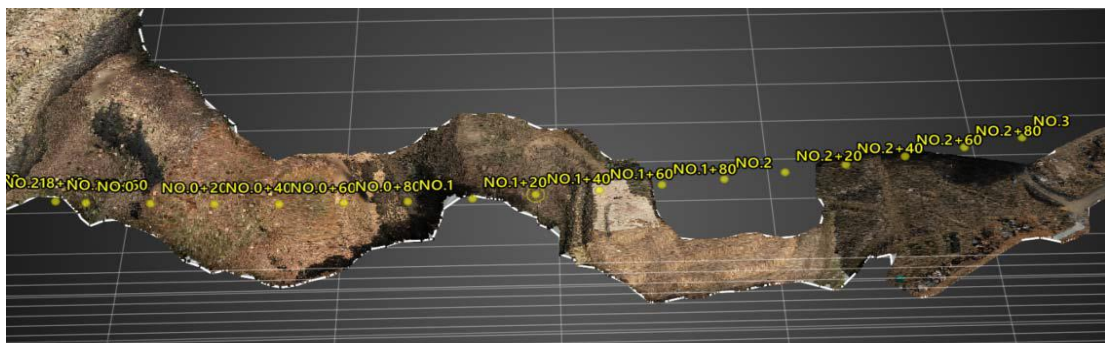


◆工事名: 令和4-5年度 窪川佐賀道路平串改良工事

本工事では、ICT技術(3次元設計データ作成、3次元起工測量、ICTバックホウ)を積極的に活用した施工を行いました。

3次元設計データと3次元起工測量で得られたデータを重ね合わせることで、土量の算出や設計の不具合を事前に確認ができ工事全体の把握ができます。

◆3次元起工測量(UAV)



◆3次元設計データ



さらに3次元設計データを搭載したICT建機を活用することで、トンボ設置・丁張レスでの施工が可能になりました。

従来の工法と比較して、測量作業等にかかる作業員の負担の軽減や掘削作業にかかる工程の短縮、また安全性・品質性の向上に繋がるとともに、生産性の向上が図れます。



▲ 掘削状況 (MG-BH0.8㎡)



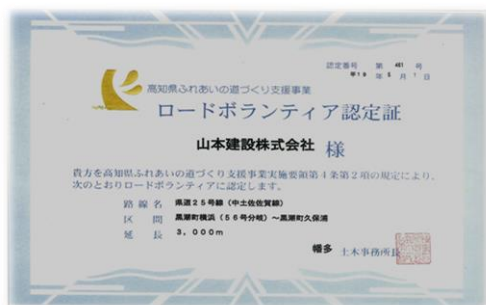
▲ 3次元設計データに合わせて計画をモニター上に表示

2) 地域・社会貢献活動

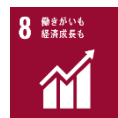
(1) ロードボランティア活動



平成19年より、毎月(年12回)全社員を3班に分けての交代制で、ロードボランティア活動(清掃活動)を行っています。 ※本社周辺及び県道25号線・県道334号線(中土佐佐賀線・佐賀港線)



(2) インターンシップの受け入れ



土木部と建築部で高校生のインターンシップの受入を行いました。ドローンの操縦体験や機械測量、建物の位置と高さを確認する作業、また施工中現場の見学と現場の安全パトロールにも同行してもらいました。一人でも多くの学生のみなさんに建設業への魅力と理解を深めてもらいたいと思います。



(3) 湧水を用水として有効活用



◆工事名:令和4-5年度 窪川佐賀道路小谷口橋下部AⅠ外工事

当該工事現場には、湧水箇所がみられました。また現場周辺には農地があり、その湧水を用水として有効活用する方法について検討。砕石等で仮排水路を設置するとともに、地下排水管と併用することで、用水として利活用しました。今後も、周辺環境や地域との調和を目指した施工に努めていきます。



▲ 湧水箇所



▲ 単粒砕石の敷き均し



▲ 竣工

(4)「佐賀の伊与木川を守る会」への協賛・参加



「佐賀の伊与木川を守る会」は、旧佐賀町を流れる清流伊与木川の環境と川に住む生物（アユ・ウナギ・ツガニ等）の保護、また自然と川に親しみ、清流を孫の代まで残していくことを目的に活動しています。

■ 令和6年5月30日 ウナギ(10.4kg)の放流



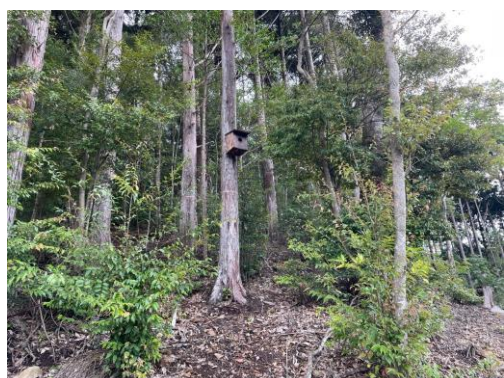
■ 令和6年6月20日 アユの放流

同会によって平成24年より開催され、今年も地元の保育園児と元気なアユを放流しました。



(5) 野鳥の保全

道路改良に伴い、自然環境の保全のため野鳥の巣箱を設置しました。



▲ 巣箱の設置状況

(6) 令和6年 能登半島地震への災害支援

令和6年 能登半島地震により被災された皆様、関係者の皆様におかれましては、心からお見舞い申し上げますと共に被災された地域の日でも早い復旧・復興を、心よりお祈り申し上げます。

国土交通省 四国地方整備局より要請を受け、令和6年2月16日～2月25日にかけて、弊社およびグループ企業社員(国道維持工事担当)4名を派遣し、給水支援等の災害支援活動を実施しました。



▲ 給水活動・仮設トイレやランドリーカーの設置

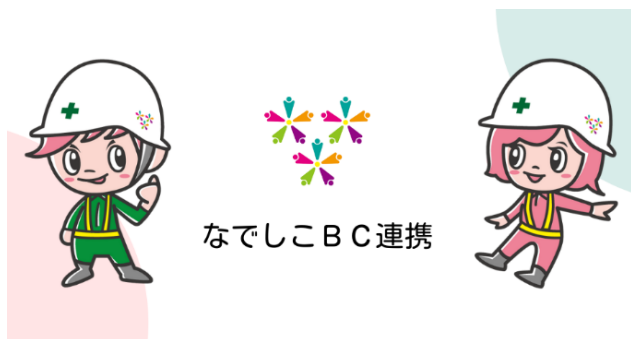
3) 社内活動

(1) ジェンダー平等、女性社員の活躍を推進しています

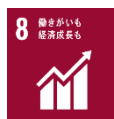


女性の視点で、現場および事務所の安全管理体制や作業環境を点検する安全パトロールを定期的実施。点検後には、毎月行われる社内安全衛生会議にて結果を報告し、改善点の見直しを図ることで、より安全で働きやすい職場環境を整えられるよう取り組んでいます。

なでしこBC連携へ加盟し、主に徳島県の企業の女性社員を中心に自然災害や有事の際に地域の枠を超えて協力体制を整え、お互いのBCP（事業継続計画）を見直ししながら、防災対応力の向上を図る活動をしています。女性社員も積極的にBCP政策に取り組むことで、より厚みのある災害時対応の実現を考えています。



(2) 社内安全衛生会議



毎月1回、社内安全衛生会議を開催。またエコアクション21の審査後には昨年度の実績報告と見直しを行い、今年度の環境経営方針と環境経営計画、各自の役割分担の周知については3ヶ月毎に確認を行っています。



▲ リモートで参加中

(3) 緊急事態対応訓練の実施



緊急事態発生を想定した訓練を毎年実施しています。

万一の緊急事態に備え、早急に適切な対応ができるよう、訓練を通して対応手順や知識の向上を図ります。

■ 油流出時の対応訓練



■ 土砂流出時の対応訓練



■ 火災時の対応訓練



■ 風水害時の対応訓練

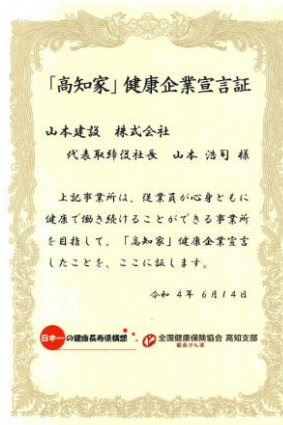
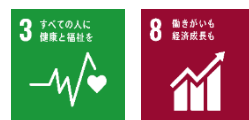


(4) 「高知家」健康企業宣言

全国健康保険協会（協会けんぽ高知支部）と高知県が推進する健康経営「高知家」プロジェクトへ参加。

「高知家」健康企業宣言をしました。

また、総務部では「高知家健康パスポート」アプリに登録しており毎日の歩数や血圧・体重測定の数値を記録しています。社員が心身ともに健康で、充実した職場環境を目指しています。



(5) 社内報「飛翔」・安パトだよりの発行

年に4回の社内報と不定期の安パトだよりを発行し、社員と社員の家族に向けて発信しています。
環境理念や社員の活躍また社内での出来事など情報共有することで、社内間の情報共有不足を解消。
さらに社内コミュニケーションの活性化にも繋がっています。

 真心と技術で 社会とお付き合い	飛翔 令和6（2024）年4月15日発行 No.155	山本建設株式会社 かしま工業株式会社 樟東生コンクリート ネストウエストガーデン士佐
--	---	---

社長挨拶

皆様 お疲れ様です。

四月になり新年度が始まりました。今年は全国的に桜の開花が速く、入学式に満開の桜の状況の今日です。

先月末には令和4-5年度窪川維持工事、小谷口橋下部A1外工事等が完成しました。令和5年度も港湾土木では十数年振りのケーソン製作工事を始め、航路浚渫工事、建築工事、道路改良工事等、多種多様な工事を無事全て竣工出来ました事、社員の皆様の技術力・ご活躍のお陰です。ありがとうございます。

令和6年度になり、祝日も含めた完全週休2日制のカレンダーに移行します。昨今よく聞く「ワークライフバランス」と言われる様に、長期の連休等でリフレッシュして貰えたらと思います。一方、祝日が増える事で現場では工期末へ向けて、これまで以上に効率的な工程管理や、部分的・瞬間的な繁忙状況が生じる事があるかもしれません。難しい局面を乗り越える為に一番重要な事は「チーム皆で力を合わせる」と言う事に尽きることと思います。日頃お互いによく話す事で報連相の取れた現場運営をお願い致します。

令和6年、新年度も先ずは無事故・無災害を目標に宜しくお願い致します。

「御安全に」
代表取締役 山本 浩司

環境理念

「真心と技術で社会とお付き合い」の精神で地域社会の発展に尽力を注ぎ、安全な国土・社会の形成を礎に建設工事を通して地域の美しい海・山・川を守り人と自然の共生を基本姿勢として、省資源・省エネルギー化を図り、低炭素で環境負荷の少ない循環型社会の実現に積極的に取り組みます。



【安全対策室より】

皆さんには、大変お世話になりました。

令和5年度の工事無事終り工事検査も良い評価を受けることが出来ました。何より、大きな労働災害や事故もなく無事に完成できた事は、作業員の皆さんや協力業者の皆さんのご協力のお陰と感謝いたします。

令和6年度については、会社の経営方針も変わり、休日も多くなり、各現場作業においては、工程管理などが今まで以上に重要なものになる事と思います。作業日数が少なくなることで、天候に影響を受ける工事等は、工程の遅れなど少なからずその対応の検討が必要になるものと考えます。

令和6年度においては、現場作業の効率化に重点を置きながら、より一層の施工手順や施工方法の検討をお願いします。

安全対策においては、安全作業の徹底、声掛け、気配りなど作業員相互で、安全環境の維持と安全作業の実行により無事故・無災害を達成できるよう皆さんのご協力を重ねてお願いします。

お互い健康にも十分気を付けながら令和6年度もよろしくお願いします。

ご安全に！ 品質安全管理部
山本 久夫

★エコアクション21オブザイヤー銀賞受賞

日頃からみなさんにご協力頂いている、エコアクション21ですが、山本建設が、環境レポート部門で銀賞をいただきました！

全国の素晴らしいレポートの中から、ハイパーエクセルリイーターの佐野さん制作のレポートが銀賞に選ばれ、東京の品川で行われた授賞式にエコ担当の2名が出席しました！

佐野さんは「この賞を目標に頑張ってきたので受賞出来て励みになるとともに自信にもなりました！」とニコニコ。おめでとうございました！



 安パトだよりの 令和4年（2022）年8月15日発行No.10 宮地恭子・山本孝代 皆さん、お久しぶりです。安パトだよりの10号です。大変暑い中での作業お疲れ様です。先日は安全大会お疲れさまでした。安全大会の振り返りとみるみる姿を交える現場の今に密着！安パトだよりの10号スタートです！(n´▽´)n 令和4年度 安全衛生大会 7月18日本社にて安全衛生大会を行いました。四国安全研修センターの田内孝也先生に「不安全行動について」ご講演頂いた後、繰り返し災害の起こりやすい電動工具の取り扱いについてのビデオ学習を行いました。その後は、各現場で熱中症対策について真剣に話し合いました。 	熱中症の応急時のフローを再確認。 各現場で話し合い、熱中症がおこらないためにはどうしたらよいかを話し合い発表を行いました。 ◆かしま工業 ・お互いに注意する（顔色や行動） ・空調風の善用 ・スポーツドリンクを用意しておく ・熱中症になったら救急車を呼び、水で冷やしたり足りない時はコンビニに買いに行くなどして、救急車の到着の前に行動に移す ◆平車改良 ・空調風の善用（重機から降りたら空調風を善用する） ・WBGT熱中症計を付けて、適時休憩を取るようにしている ・OS-1を用意している ◆上分改良 ・個人個人が気を付ける ・ヤードが広いので、一人では作業しない ・ドリンク等を配布して気を付ける ◆維持工事 ・小休止を挟み、適時水分補給を行う ・顔色をお互いにチェック ・事務所が無いのでクーラーボックスに多めに氷を用意して本営を選んで休み作業する ◆秋刈佐賀線 ・アクリルアスを個人用に用意して配っている ・熱中症対策キットの場所を全員に周知していつでも使えるようにする ・アイスリングやシヤツに貼るアスプレーを試している ・個人個人が気を付けて、休める本営を作っているのでもって休む     総評 ・意識があるかないかをしっかり確認する（救急車を呼ぶか呼ばないかの重要な判断基準） ・けいれんしたいたらすぐに救急車を呼ぶ ・慌てずにみんなが行動に移せるように音段から意識する ・空のペットボトルに水を入れて凍らせておき、クーラーボックスで持ち歩きいざという時に体を冷やす用に用意しておく ・ガードマンは現場から目の届かない位置に立っているのを異変を感じたら遠慮なく申し出られるようにしておく 
--	---

4) その他 環境およびSDGs活動

◆環境活動への参加

団体名	活動名	時期
高知商工会議所	おらんくのストップ温暖化宣言	2013年12月～
高知県林業振興・環境部	ウォームビズ四国・クールビズ四国 キャンペーン参加	2017年11月～
高知県地球温暖化防止県民会議 県民部会事務局 環境の杜こうち	環境にやさしい買い物キャンペーン2023	2023年10・11月

◆環境及びSDGsイベントへの参加

団体名	内容	時期
88クリーンウォーク四国 実行委員会事務局	88クリーンウォーク四国	2023年8月8日
高知大学、四国電力、電通西日本及び 高知放送共催	Kochi SDGs Action「かけアイワークショップ」	2023年11月

※88クリーンウォーク四国への参加を予定しておりましたが、2023年は台風6号の接近に伴い中止となりました。

◆環境団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
佐賀の伊与木川を守る会	伊与木川の環境保護活動	2024年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2024年
公益社団法人 高知県森と緑の会	緑の募金	2023年

学生と企業がSDGsについて考えるワークショップへの参加



当社は、高知県のSDGs取り組み活性化プロジェクト「Kochi SDGs Action」に参画しています。

令和5年11月15日 高知大学にて、同プロジェクトの企画であるSDGsをテーマとした「かけアイワークショップ」に参加しました。カードゲーム「かけアイ」を使用し、大学生と参加企業が交流しながら高知のSDGsについてアイデアを考案。課題や問題を解決していく中で、楽しみながらSDGsへの理解を深めていくことができました。



5) 外部表彰

◆表彰状

年 月 日	表 彰 授 与 機 関	表 彰 名	工 事 名
令和5年12月18日	高知県幡多土木事務所長 大野栄一氏	所長賞	道交地防安(1.5車)第9103-041-1号 県道秋丸佐賀線防災・安全交付金工事
令和4年7月26日	国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所長 田中元幸氏	優秀貢献工事	令和2年度 中村管内バイパス保守工事

※1

◆感謝状

年 月 日	表 彰 授 与 機 関	表 彰 名
令和6年5月17日	高知県地球温暖化防止県民会議 会長 濱田省司氏	感謝状
2021年度	一般財団法人持続性推進機構 エコアクション21 中央事務局 理事長 森本英香氏	永年継続事業者感謝状

◆その他

年 月 日	表 彰 授 与 機 関	表 彰 名
令和6年3月24日	一般財団法人持続性推進機構理事長 森本英香氏	エコアクション21オブザイヤー2023 環境経営レポート部門「銀賞」
令和6年3月18日	高知家健康パスポート事務局	表彰状
令和5年10月20日	高知県地球温暖化防止県民会議 事業者部会長 内田洋子氏	県民部会長賞
令和5年7月24日	国土交通省 四国地方整備局長	令和5年度 工事成績優秀企業認定書

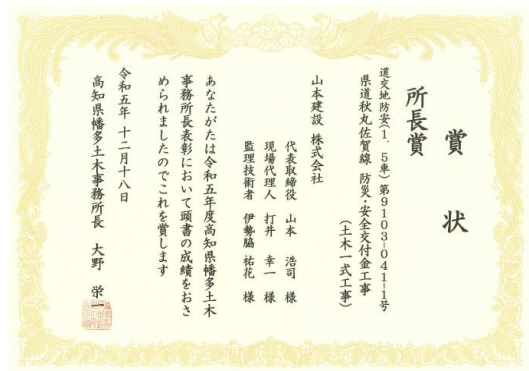
※2

※3

※4

※5

※1



▲ 令和5年度 建設優良工事
幡多土木事務所長表彰式

※3



高知家健康パスポート2月アブリイベント 事業所対抗戦 結果順位

1位	四国銀行健康保険組合
1位	有限会社愛機工業
1位	偕楽荘
1位	TOPPANグループ健康保険組合 高知診療所
1位	株式会社ユーエスケー
1位	山本建設株式会社
1位	高知県庁

※4



※5



エコアクション21オブザイヤー2023 環境経営レポート部門『銀賞』を受賞いたしました☆

当社は、今後も環境に配慮した施工の考案や実施、また地域への貢献活動などの事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、社員が一丸となって積極的に環境活動・SDGs活動に取り組んでまいります。

※2



真心と技術で
社会とお付き合い



山本建設株式会社